

全国学力・学習状況調査結果について

令和7年9月2日 行方市立玉造中学校

令和7年4月に、3年生を対象に実施しました「令和7年度全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の結果及び課題と対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

この度のお知らせは、お子さまの学習における進捗状況を共有し、共に学び成長する機会と捉えております。本校では、今回の調査結果をふまえ、学校教育目標の実現に向けて引き続き取り組んで参ります。今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【国語科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが明確になるように論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができる生徒が多いです。
- ・「書くこと」において、目的に応じて集めた材料を整理し伝えたいことを明確にすることができる生徒が多いです。
- ・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題が見られました。授業では、「この作品がなぜそのような構成や展開となっていて、それがどのような効果につながっているのか」について、自分の考えと根拠について説明したり、気付いたことを伝えあったりする学習を取り入れて、指導していきます。

【数学科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「関数」において、事象に即してグラフから必要な情報を読み取ることができる生徒が多いです。
- ・「データの活用」において、必ず起こる事柄の確率について理解できている生徒が多いです。
- ・「図形」において、平行四辺形の証明に関して、統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について証明を評価・改善することに課題が見られました。課題の改善のために、授業の中で、既に成り立つことを示した証明を活用し、条件を変えた場合にどのような証明が成り立つかを考える場面を設定します。さらに、元の証明のどこを変えればよいのかを検討する活動を取り入れ、指導していきます。

【理科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「地球を柱とする領域」において、露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、既習事項を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析、解釈できる生徒が多いです。
- ・「エネルギー」を柱とする領域において、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識を身に付けることに課題が見られました。これまで学習してきた知識を活用して、発生する熱量と直列回路・並列回路の合成抵抗とを関連付けて学んだことの意味やつながりを考える場面を設定するとともに、その際に身近な生活と関連をもたせて、生徒の学ぶ意欲を高めて指導を行います。

【質問紙】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」という質問項目に対

して肯定的に回答する生徒が多いです。今後も、本校の教育目標である「自立貢献～人の役に立つ喜びを実感できる生徒の育成～」の実現に向けて、貢献できる機会を意図的に設けて指導・支援に努めていきます。

- ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり新たな考え方に気付いたりすることができますか」という質問項目に、肯定的に回答する生徒が多いです。今後も、探究的な学習活動に重点を置き、協働的に課題を解決する力を伸ばしていけるように、指導・支援に努めていきます。
- ・「平日、学校の授業時間以外にどれくらいの時間勉強しますか」の質問項目に、1時間以上と回答する生徒の割合が、全国や県の回答と比べて少ないです。学校の授業時間以外に学習に取り組めるように、家庭での学習の方法や計画の立て方などを示すとともに、ICT 機器を家庭学習でも使用することを推進していきます。

【保護者の皆様へ】

今回の調査での結果を踏まえ、学校とご家庭とが共通理解のもと、課題解決に向けて取り組んでいくことが大切であると考えます。特に以下の点につきましては、お子さまへの声かけや励ましと共に、ご家庭で折りに触れて話題にしてくださるよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ・家庭での適切な学習時間の確保について学校でも呼びかけているところです。「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」という質問項目に、肯定的に答えた生徒は教科の平均正答率が高くなるという全国的な分析報告もしております。学校でも、授業の最後に振り返りを行う時間を設定しております。ご家庭でも、学習の振り返りを行うことの大切さについて話題にいただき、学習している様子に気付いたときには、励ましの声かけをお願いいたします。